

キャラクター名
禍津 純

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	高校生
	サラマンダー					
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	素体	衝動	憎悪	初期侵食率	39	%
出自	天涯孤独	経験	汚点	邂逅	超越	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	4	0	0			4	行動値	15
感覚	0	0	1	2		3	(非装備時)	16
精神	2	1	2	1	4	10	戦闘移動	21
社会	2	0	0	2		4	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：二輪			芸術：料理			知識：	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
キス・バレット	RC	15r+1	7	3		結合粉碎+弾丸+CR 浸蝕値7
キス・バレット-ラヴィグニッション	RC	15r+1	7	3		インフェルノ 浸蝕値4+7 キスバレットの派生技
ラスト・バレット		0	7	Lv+2D		極大消滅破 浸蝕値4D10
ヒートアップ・トリガー		0	7			先陣の火 浸蝕値4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
完全熱光学迷彩服		7	-2	-1	エンゲージ内でも隠密に(マイナーで使用可)

所持品	
コネ：情報屋	

合計装甲： 7 合計回避： -2

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
Dロイス：実験体P		N		
影羽 紅緒	P 純愛	N 悔悟		
賢者の石	P 執着	N 憎悪		
	P 連帯感	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CRサラマンダー	2	2						
効果：	CR値-2							
先陣の火	1	2	セットアップ		自身	自動		
効果：	行動値を+LV×5する							
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界		RC		
効果：	攻撃力Lv+2の射撃攻撃							
結合粉碎	5	4	メジャー		自身	自動	ピュア	
効果：	判定ダイス+Lv。+装甲無視							
プラズマカノン	5	4	メジャー	視界	単体	RC	100↑	
効果：	攻撃力Lv×5の射撃攻撃							
インフェルノ	1	4	メジャー		単体	対決	100↑	
効果：	対象に1点でもダメージを与えたら、対象を行動済みにする							
揺るぎなき心	1	1	マイナー		自身	自動		
効果：	BSをLv+1つ回復(暴走以外)							
氷盾	4	2	オート		自身	自動		
効果：	ガード値LV×5							
閃熱の防壁	5	4	オート		単体	自動	ピュア	
効果：	対象のDを-[Lv+2]D減少							
フェニックスの翼	5	4	クリンナップ		自身	自動		
効果：	LV×5点のHPを回復							
火の鳥の加護	2	4	オート		自身	自動		
効果：	フェニックスの翼の対象を範囲(選択)にする							
極大消滅破	1	4d10	イニシアチブ		範囲(選択)	自動	120↑	
効果：	対象にLv+2D点のHPダメージ							
熱感知知覚	★							
効果：	熱でものをみることができる							

裏の仕事の時は常に仮面を付けている。
研究所で使用していた迷彩服の効果も相まって、付いたコードネームがインビジブル。(通称インビジブル先輩)

表の顔の時は、教室の窓際で読書しているようなキャラ

「チッ、馬鹿が！」
「それは、お前が知る必要のないことだ。」
「お前を殺す——。」

【能力】
炎と氷を操るサラマンダーのピュアブリード。
インビジブルはFHの実験により、通常のサラマンダーと異なり、氷を操ることが出来ない代わりに、他を凌駕するほどの絶大な炎の力を有する。相手に炎の銃弾を打ち込む基本攻撃「キス・バレット」、体内の温度を徐々に操ることで自身の能力を向上・回復させる「ヒートアップ」という技を駆使して戦う他、「完全熱光学迷彩服」により熱を操り自身の姿を消すことが出来るため隠密行動や偵察、暗殺にも長けている。
また、彼が紅緒を守るために密かに編み出した技「ソル」は、超高純度の火柱を吹き上げさせ、対象の攻撃を焼き尽くす。
侵蝕率が危険域に達すると、彼の炎は炎として形を保てる温度を超え、第4の状態、プラズマへと化する。このプラズマを放つ「インビジブル・ノヴァ」は圧倒的な威力を誇るが、この状態はジャームに近づいているため、危険である。
更に奥の手「ラスト・バレット」は、自身の侵蝕率を急激に上げてしまう禁断の技である。

【設定】インビジブル劇場。読みたい人だけどうぞ

